



呉の港に浮かぶ船や、かつて呉で  
つくられた船について見てみよう



人や物を運ぶ船（商船）

フェリー



写真提供：瀬戸内海汽船(株)

りやく、じやうしや等を同時に運ぶ船。写真は令和元年に就航したクルーズフェリー「シーパセオ」。美しい外観で、内装も船旅を楽しむ工夫がなされています。広島・呉～松山航路を結びます。

オイルタンカー



げんゆを運ぶ船で、積みおろしには、ポンプやパイプラインを使います。写真は、呉で造られた石油タンカー「日精丸」です。呉では、こうしたオイルタンカーを含む大型の船がたくさん造られています。



海で仕事をする船（特殊船）

クレーン船



写真出典：日興産業(株)ホームページ

クレーンが設置されている船。起重機船といいます。写真の起重機船は「ひろしま」という船で、150 トンもの重さのある荷物を積み降ろすことができます。

潜水調査船



しんかいを調査する船。写真は、戦後初の有人潜水調査船「しんかい」です。深さ 600 メートルまで潜ることができ、海の底の形や生物などを調べていました。現在は、大和ミュージアム屋外に展示しています。



国を守るための船

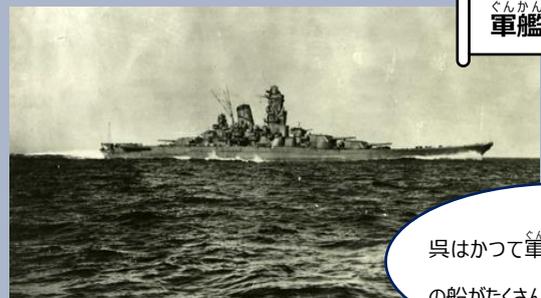
潜水艦



写真出典：海上自衛隊ホームページ

海に潜って行動する船。「海の忍者」ともよばれ、秘密のかたまりです。魚雷やミサイルを備え、日本近海を見張っています。写真は潜水艦「しゅうりゅう」です。

軍艦



呉はかつて軍港だったから、海軍の船がたくさん往來していたんだ。

軍艦とは、水上で戦う船のこと。写真は日本海軍の代表的な軍艦「大和」で、昭和16（1941）年、呉で完成しました。世界最大の46センチ主砲を載せています。

